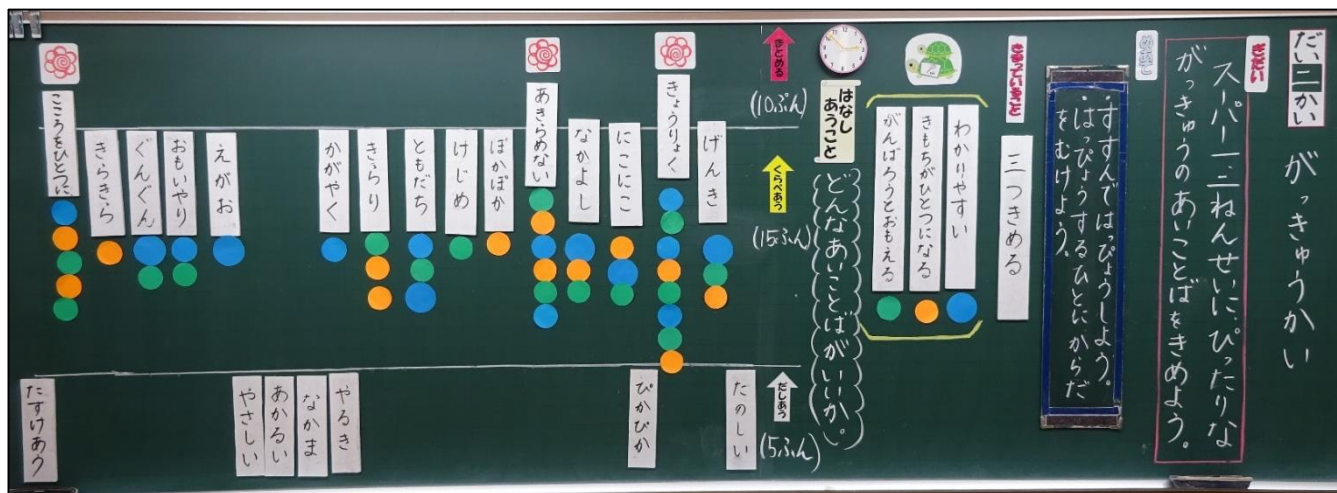


～議題：スーパー1・2ねんせいにぴったりながつきゅうのあいことばをきめよう～

【ねらい】

学級での生活をより楽しく、まとまりのあるものにするために、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりしながら気持ちが一つになるような学級の合言葉を決められるような話し合いにする。



【写真①：板書】

【学級会の計画】

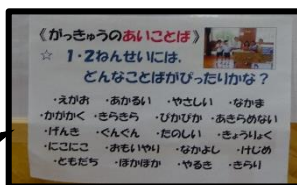
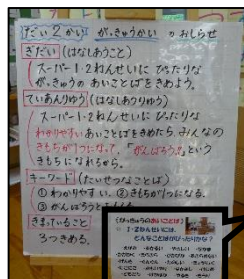
5月24日(木) 5時間目

議題	スーパー1・2ねんせいにぴったりながつきゅうのあいことばをきめよう。
提案理由	がつきゅうかつどうのじかんに、一人一人の1がっきのもくひょうをきめました。1ねんかんのゴールは、スーパー1・2ねんせいになることです。 そこでスーパー1・2ねんせいにぴったりなわかりやすいあいことばをきめたら、みんなのきもちが一つになって、「がんばろう！」というきもちになれるとおもってこのぎだいをていあんしました。
めあて	はっぴょうするがわ：すすんではっぴょうしよう。 きくがわ：はっぴょうするひとにからだをむけよう。
《キーワード》	○ わかりやすい ○ きもちがひとつになる ○ がんばろうとおもえる
決まっていること	○ あいことばを三つきめる。
司会グループ	※学級会の流れを掴ませるために、今回まで教師が司会・進行
話し合うこと①	どんなあいことばがいいか。

指導のワンポイント

☆ 事前に子どもの目的意識を高めるための工夫

- ・学級活動(3)「こんなじぶんになりたいな」との関連 (写真②)
教師の思いや願いも学級の合言葉を考える一つの材料にするための教室設営
- ・自分たちの学級にぴったり合う言葉を探すために、いろいろな言葉を紹介 (写真③)
- ・学級の合言葉の具体的なイメージをもたせるために、他校の学級目標を提示 (写真④)



【写真②：学級活動(3)との関連】

【写真③：言葉の紹介】

【写真④：他校の学級目標】

☆ 自他の思いや願いを大切にしながら合意形成を図っていくための学習過程の工夫

○ 話し合うこと①「どんなあいことばがいいか」

- ・「出し合う」タイム (5分)
 - ① 提示した言葉の中で、意味が分からないものを質問させた。
 - ② 提示した言葉以外で合言葉にしたい言葉を発表させた。
- ・「比べ合う」タイム (15分)
 - ① キーワードを意識させながら、賛成意見とその理由を発表させた。
- ・「まとめる」タイム (10分)
 - ① キーワードの数が多かったり、三つ揃っていたりする言葉の一つずつ決めた。
 - ② キーワードの数が同じくらいの意見は、更に賛成意見を出させ、合意形成を図った。

アドバイス

- 低学年はまだ語彙数が少なく、特に1年生は合言葉にふさわしい言葉を自ら考え出すことは難しい。そこで、低学年でも分かりやすい言葉や他校の学級目標を事前に提示しておくことで学級の合言葉がどんなものかイメージしやすくなると考える。
- 「比べ合う」タイムでは15分間を設定していたが、後半子どもの意識が絞り込みではなく、多くの候補を挙げることに向いていた。そのため「比べ合う」タイムでは、自分が決めたいことをアピールする時間であることを意識させる必要がある。そこで、15分間を更に「候補を挙げる時間」と「候補を絞り込む時間」に分けることで話し合いがスムーズに進むのではないかと感じた。
- 同意見で理由が違うときに「理由が違います。」「付け加えます。」や、同意見で理由が上手く説明できないときに「フォローします。」などの話型を話し合いの中で活用することで、話し合いがより活発になり、一体感が生まれると感じた。